おおむしっ子の力（学力と学習）

令和８年度全国学力・学習状況調査結果より
（2026 年４月　６年生において実施）

◎は良いところ　▲は伸ばしたいところ

★国語について

①「学習指導要領の内容における結果から」

◎「書くこと」の領域で、よく力がついています。
特に、筋道の通った文章にするために、文章全体の構成や展開を考えることができています。

②「特に正答率の高かった問題」

◎比喩や反復などの表現の工夫を見つけ、その効果を理解する問題がよくできています。
◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の経験と結び付けながら自分の考えをまとめる問題がよくできています。

③「課題として」

▲言葉の特徴や使い方に関する事項
※日常の授業や感想、振り返り等の作文活動において、様々な表現方法や既習の漢字を意識して使うようにします。さらに、今年度から「言語活動ルーティーン」を取り入れ、音読・暗唱・視写を習慣化しています。言葉に触れる機会を増やし、情景やイメージと結び付け、文脈に応じた言葉や漢字の使い分けができる力を育んでいきます。

★算数について

①「学習指導要領の５領域における結果から」

◎「図形」の領域で、よく力がついています。
特に、体積の意味を１立方センチメートルの単位量に着目して考察し、その意味を理解した上で、立体の体積を計算によって求めることができています。

②「特に正答率の高かった問題」

◎単位分数の個数に着目し、数直線上の１を表す目盛りを捉える問題がよくできています。
◎示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述する問題がよくできています。

③「課題として」

▲数を四捨五入して概数で表すことに課題があります。
※四捨五入や概数に関する算数の用語の意味が正しく理解できるように、具体的な数を用いた操作を繰り返し行うことで定着を図っていきます。また、日常の場面と関連付けながら、概数を活用する力を身に付けられるようにしていきます。

★学習や生活について

◇よい傾向　◆心配な傾向

《家庭や地域に関すること》

◇「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答えた児童の割合が高いです。

※本校では低学年時からふるさと学習や地域の人と関わる学習を進めている効果が出ていると考えられます。今後もふるさとを愛する心を育てていきます。

《学校に関すること》

◇「学校に行くのは楽しい」と答えた児童の割合が高いです。

◇「友達関係に満足している」と答えた児童の割合が高いです。

◇「先生は、学校の授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と答えた児童の割合が高いです。

◇「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題解決に取り組んでいる」と答えた児童の割合が高いです。

◇授業における、PC・タブレットなどの ICT 機器の活用頻度について、「ほぼ毎日（１日に複数の授業で活用）」と答えた児童の割合が高いです。

◇国語の授業において、次のように答えた児童の割合が高いです。

・国語の授業の内容がよく分かる。
・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。
・先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれる。

◇算数の授業において、次のように答えた児童の割合が高いです。

・算数の勉強は得意である。
・算数の勉強は好きである。
・算数の授業の内容がよく分かる。
・算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている。
・算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えた。
・算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。

◆困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると答えた児童の割合が低い傾向があります。

※毎学期１回ハートフル週間を設け、先生と相談する機会をもっています。今年度からはスクールライフノート（心の健康観察）を活用することで、心の変化を感じ取り、担任はもちろん、副担任や養護教諭、スクールカウンセラーなどに対して、気軽に相談しやすい環境をさらに整えていきます。

《自分自身に関すること》

◇「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童の割合が高いです。

◇「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童の割合が高いです。

◆学校の勉強のことや学校での悩みについて、親や家族と話す頻度が「年に１、２回」「ほとんど、または、全くしない」と答えた児童の割合が高いです。

◆平日に、学校の授業以外の勉強時間が「３０分より少ない」「全くしない」と答えた児童の割合が高いです。

◆「自分には、よいところがあると思う」と答えた児童の割合が低い傾向があります。

※心と体の健康は、日々の生活を充実させる基礎となります。学校では、児童一人ひとりのよさや頑張りを言葉で認める機会を増やし、自分の成長やよさを実感できる場面を増やしていきます。ホームページやおたより等で学校の生活や学習の様子を発信しています。ご家庭でも、お子さんの頑張りや学校のことについて話す機会を設けていただき、学習時間も含め計画的に１日を過ごせるよう、ご協力をお願いいたします。